

2020年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹

2020年2月6日

売上と調整後営業利がQ3累計として過去最高

(億円)

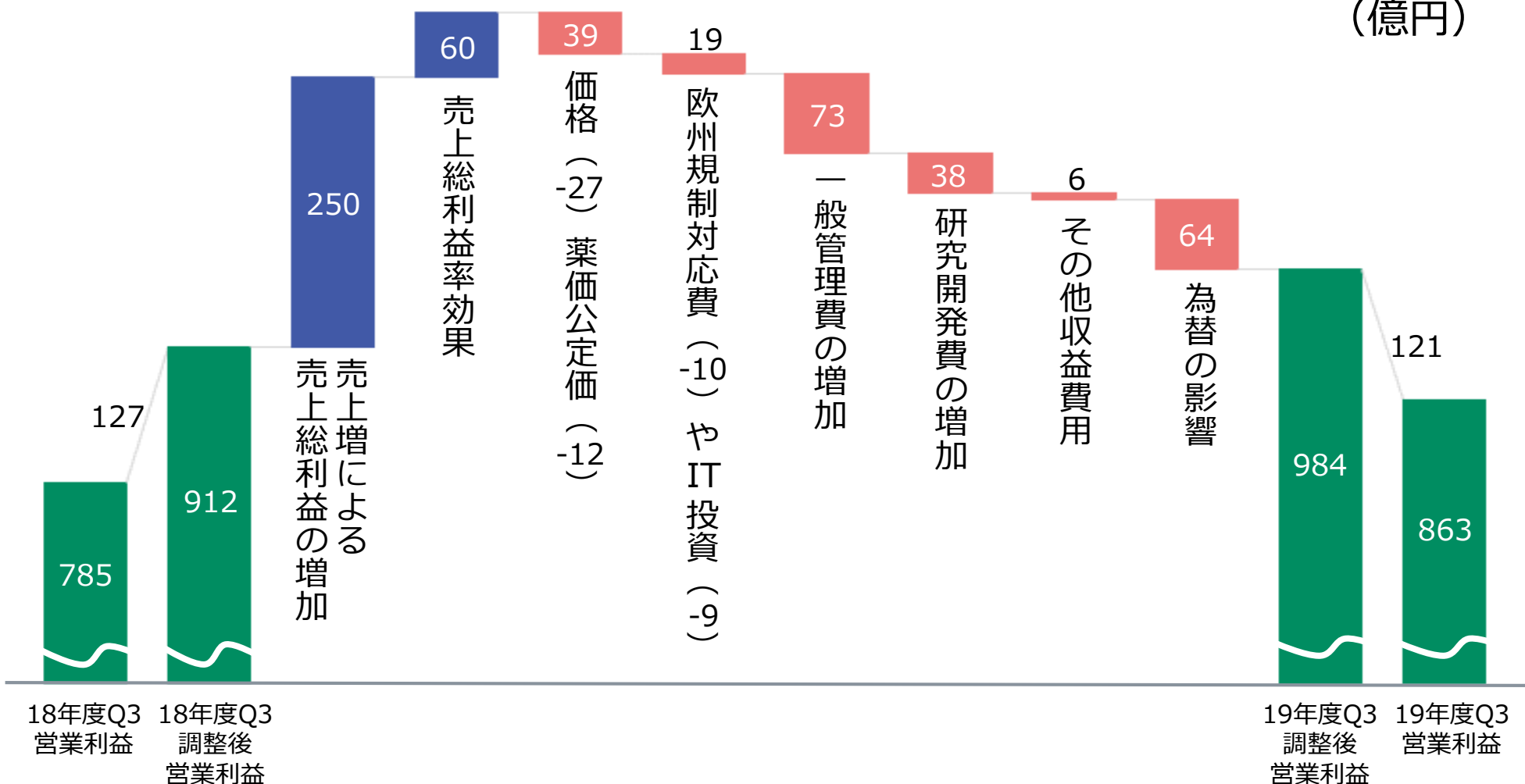
	18年度Q3累計	19年度Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	4,436	4,701	+6%	+9%
売上総利益	2,422 (54.6%)	2,586 (55.0%)	+7%	+11%
一般管理費	1,320 (29.8%)	1,368 (29.1%)	+4%	+7%
研究開発費	360 (8.1%)	370 (7.9%)	+3%	+5%
その他収益費用	44	15	-	-
営業利益	785 (17.7%)	863 (18.3%)	+10%	+18%
調整後営業利益	912 (20.6%)	984 (20.9%)	+8%	+17%
税引前利益	750 (16.9%)	855 (18.2%)	+14%	
当期利益	565 (12.7%)	669 (14.2%)	+18%	

期中平均レート	USD	111円	109円
	EUR	129円	121円

- 売上収益 : 全カンパニーでプラス伸長を継続。TISとニューロが二桁伸長を継続し全体を牽引
- 調整後営業利益 : 為替の影響を除くベースで二桁伸長を継続
- 税引前利益 : 前年同期の為替差損32億円に対し、今年度は差損8億円と縮小

調整後営業利益増減分析

(億円)



営業利益増減分析における為替の影響

対前年為替影響 ▲64億円：上期▲23億円から、Q3に▲41億円拡大

<▲41億円の内訳>

■ フロー ▲23億円：対前年円高 ユーロや新興国通貨安の影響

レート比較		(円)	
	18年度Q3期中平均	19年度Q3期中平均	差異
EUR	129	120	▲9
中国元	16.6	15.6	▲1

■ ストック ▲18億円：棚卸資産未実現利益為替影響

- 今年度12月末日レートが急激に円安へ移行したことによりネガティブ影響
- 前年度はポジティブだったため今年度との差異拡大

レート比較		(円)				(円)		
	18年度Q3 期中平均	18年度 12月末	差異	➔		19年度Q3 期中平均	19年度 12月末	差異
USD	113	111	+2		USD	109	110	▲1
EUR	129	127	+2		EUR	120	123	▲3

地域別売上収益

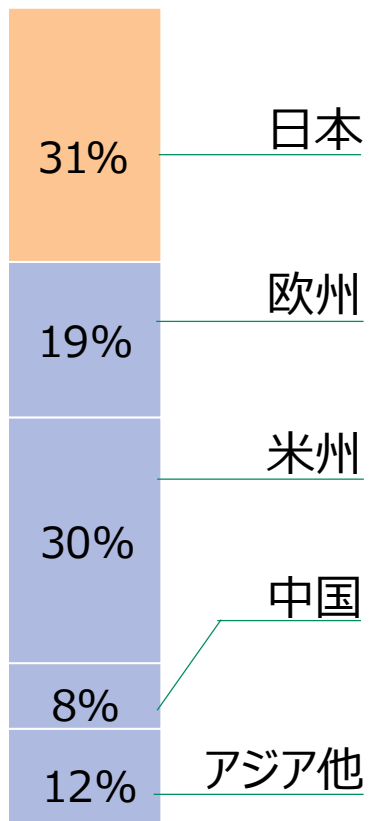
■ 19年度Q3累計
■ 18年度Q3累計

売上収益

100% = 4,701億円

売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
日本 1,478 1,422	+4%	心臓血管は一桁後半の安定伸長。ホスピタルと血液は計画通りの堅調な推移
欧州 887 882	+1% (+7%)	為替の影響大。為替の影響除くベースで心臓血管が二桁伸長し全体を牽引
米州 1,416 1,297	+9% (+13%)	二桁伸長したTISやニューロを中心に心臓血管が牽引し、ホスピタルのマイナス伸長をカバー
中国 370 328	+13% (+19%)	2割以上の伸長を継続したTISが牽引し、全体で二桁伸長
アジア他 550 508	+8% (+12%)	心臓血管に加え血液も二桁伸長を継続

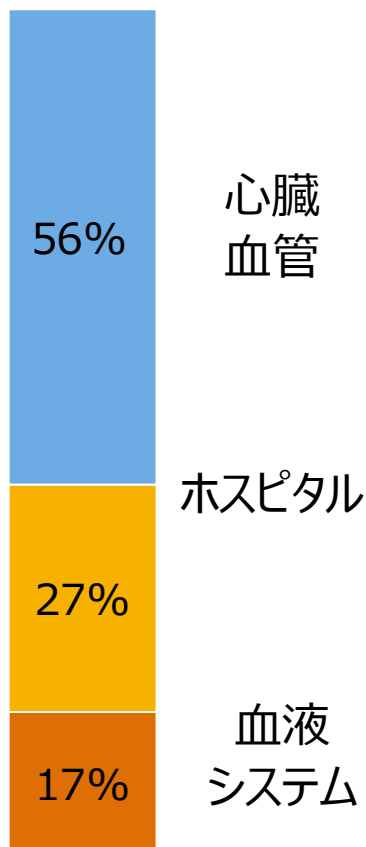


カンパニー別売上収益

■ 19年度Q3累計
■ 18年度Q3累計

売上収益

100% = 4,701億円



売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 2,635 (19年度Q3累計) 2,410 (18年度Q3累計)	+9% (+14%)	TISとニューロが二桁伸長を維持し全体を牽引。CVもモメンタム向上
ホスピタル 1,278 (19年度Q3累計) 1,259 (18年度Q3累計)	+2% (+2%)	アライアンスが二桁伸長を継続。全体で堅調維持
血液システム 787 (19年度Q3累計) 766 (18年度Q3累計)	+3% (+7%)	成分採血装置の新ソフトウェア導入が全体を牽引

心臓血管：全事業がプラス伸長。二桁増益を継続

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
売上 収益	2,410	2,635	+9% (+14%) () 内は為替影響除く	TIS : 海外で二桁伸長を継続	+156
				ニューロ : グローバルで「WEB」やストローク製品が 牽引し二桁伸長を継続	+51
				CV : 人工肺が牽引しモメンタム向上	+12
				血管 : 国内直販移行や海外の組織再編は順調	+6
調整後 営業 利益 (率)	580 (24%)	688 (26%)	+18% (+28%)	TISやニューロの売上拡大による利益増。 TIS全般とニューロの「WEB」が売上好調な為 一部費用は遅めの進捗	

ホスピタル: 計画通りの売上・利益進捗

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
--	--------------	--------------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

売上 収益	1,259	1,278	+2% (+2%)	医療器 : インドネシア皆保険財政難等	-7
				医薬品 : 疼痛緩和や癒着防止材が 二桁伸長を継続	+11
				アライアンス : 計画通りの進捗	+15
調整後 営業 利益 (率)	223 (18%)	198 (16%)	-11% (-9%)	計画通りの推移	

血液システム：為替の影響を除くベースで堅調な推移

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
--	--------------	--------------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

売上
収益

766

787

+3%
(+7%)

血液センター：成分採血装置の
新ソフトウェアが牽引
アフレスリス治療：先進国は後継装置への切替の
反動。アジアや南米は二桁伸長

+21

+2

調整後
営業
利益
(率)

109

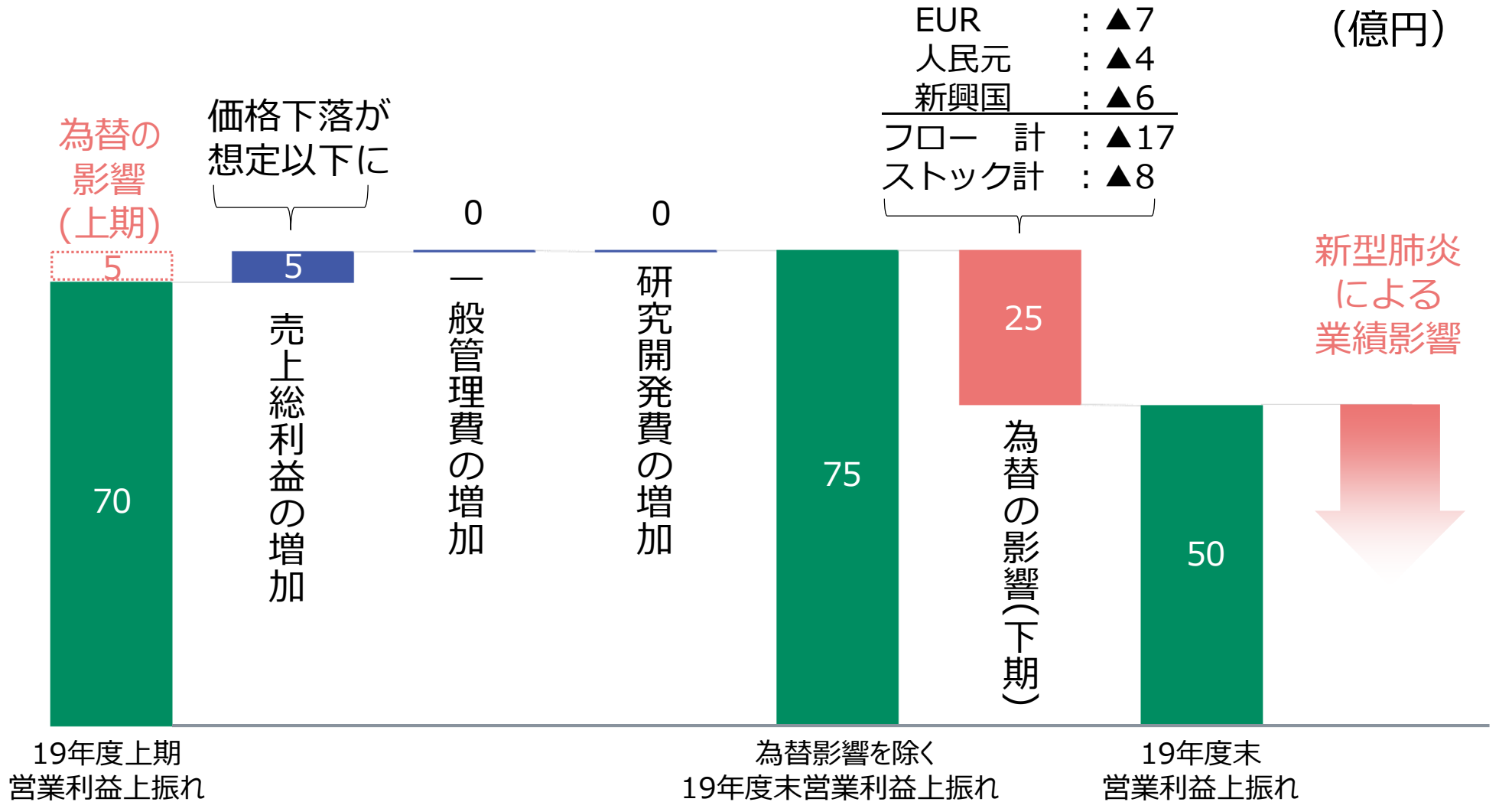
104

-4%
(+11%) 為替の影響大。
計画通りの利益進捗

(14%)

(13%)

通期の業績予想は据え置く



為替レト

Q4 USD=109円、EUR=120円
 通期 USD=109円、EUR=121円

主なトピックス

全社

- 24年連続でグッドデザイン賞を受賞(10月)
- 台風第19号被災地支援として日本赤十字社を通じ義援金を寄付(10月)
- 「テルモグループ人権方針」を制定(12月)



閉鎖式
薬剤移注システム
「ケモセーフロック」



パルス方式キセノン
紫外線照射ロボット
「LIGHTSTRIKE」



経口栄養補助食品
「テルミール
アプリードmini」

事業

- スプレー式癒着防止材「アドスプレー」の小容量品を発売(10月)
- 細胞製剤の充填・仕上げシステム「FINIA」を発売(10月)
- カスタムメイド・ステントグラフトの設計ソフト技術を持つ米アオルティカ社買収(11月)
- 旭化成ファーマ社から「PLAJEX」使用の骨粗鬆症治療剤が発売(12月)
- 脳動脈瘤治療用ステント「FRED」、米国で販売承認取得(12月)
- 袋状脳動脈瘤塞栓デバイス「Woven EndoBridgeデバイス」が日本で製造販売承認取得(12月)



充填・仕上げシステム「FINIA」



「テリボン 皮下注28.2μgオートインジェクター」



袋状脳動脈瘤塞栓デバイス
「Woven EndoBridgeデバイス」

19年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	FY20	医療器	次期シリンジポンプ	日	Q4
心臓	PTCAバルーン	欧亜	済み	医薬品	麻酔用鎮痛剤（フェンタニル注射液）	日	済み
ペリフェラル	ステント（TRI）	日米	済み		癒着防止材（アドスプレー・ミニ）	日	済み
脳	袋状塞栓デバイス（WEB）	米	済み	DM・ヘルスケア	持続血糖測定器	日	済み
	中間カテーテル（Sofia EX）	欧米	済み		血糖測定システム	日	Q4
	ミニ・バルーン	欧米	済み		パッチ式インスリンポンプ	日	済み
	血栓吸引カテーテル	日	済み		次期血圧計	日	済み
	ステントリーバー	日	済み		次期体温計	日	Q4
CV	次世代人工肺	日	FY20	血液	細胞治療用充填・仕上げシステム（FINIA）	グローバル	済み
	人工心肺装置（再出荷）	日	FY20				
血管	大口径人工血管（トリプレックス・アドバンスド）	日	Q4				

参考資料

19年度Q3累計 事業別・地域別売上収益と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	382 (+8%)	2,253 (+15%)	641 (+10%)	1,031 (+15%)	309 (+22%)	272 (+15%)	2,635 (+14%)
うちカテーテル※	285 (+7%)	1,854 (+16%)	522 (+11%)	818 (+18%)	289 (+23%)	225 (+14%)	2,139 (+15%)
ホスピタル	1,005 (+3%)	273 (+0%)	66 (-0%)	61 (+2%)	19 (+6%)	128 (-1%)	1,278 (+2%)
血液システム	90 (+1%)	697 (+8%)	181 (+2%)	324 (+7%)	42 (+7%)	150 (+20%)	787 (+7%)
合計	1,478 (+4%)	3,223 (+12%)	887 (+7%)	1,416 (+13%)	370 (+19%)	550 (+12%)	4,701 (+9%)

※ニューロバスキュラー事業含む

() 内は為替影響除く前年比伸長率

販管費

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	655	666	+11	+2%	+5%
販促費	133	146	+13	+10%	+13%
物流費	101	103	+3	+3%	+5%
償却費	104	139*	+35	+34%	+37%
その他	327	314*	-13	-4%	-2%
一般管理費計	1,320 (29.8%)	1,368 (29.1%)	+48	+4%	+7%
研究開発費	360 (8.1%)	370 (7.9%)	+10	+3%	+5%
販管費合計	1,680 (37.9%)	1,738 (37.0%)	+58	+3%	+6%

*償却費とその他において、IFRS16号（リース会計）により組み替え

四半期の動き

(億円)

	18年度Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	19年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上収益	1,586	1,559	1,525	1,548	1,629
売上総利益	876 (55.2%)	843 (54.1%)	852 (55.8%)	863 (55.8%)	872 (53.5%)
一般管理費	450 (28.4%)	467 (29.9%)	445 (29.2%)	451 (29.1%)	472 (29.0%)
研究開発費	123 (7.7%)	116 (7.5%)	118 (7.8%)	125 (8.1%)	127 (7.8%)
その他収益費用	6	21	4	13	-2
営業利益	309 (19.5%)	282 (18.1%)	292 (19.1%)	300 (19.4%)	271 (16.6%)
調整後営業利益	359 (22.6%)	309 (19.9%)	339 (22.3%)	331 (21.4%)	314 (19.3%)

四半期	USD	113円	110円	110円	107円	109円
平均レート	EUR	129円	125円	123円	119円	120円

調整後営業利益：調整額

(億円)

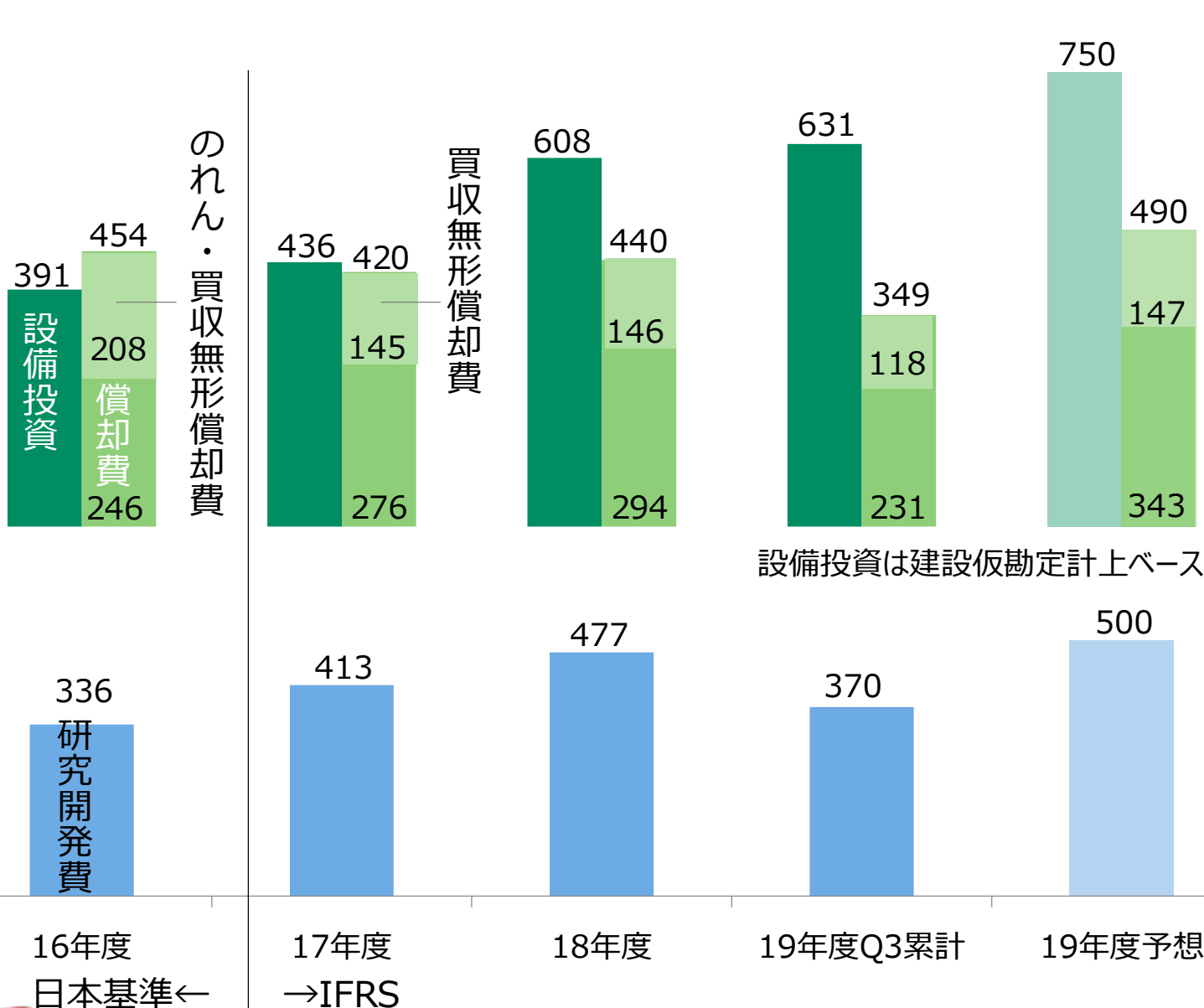
	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計
営業利益	785	863
調整① 買収無形資産の償却費	+110	+119
調整② 一時的な損益	+17	+3*
調整後営業利益	912	984

調整項目

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な
損益

* 19年度Q3累計 調整②「一時的な損益」の項目	調整額
事業再編コスト	+11
プエルトリコ工場災害保険金受取	-12
その他	+4

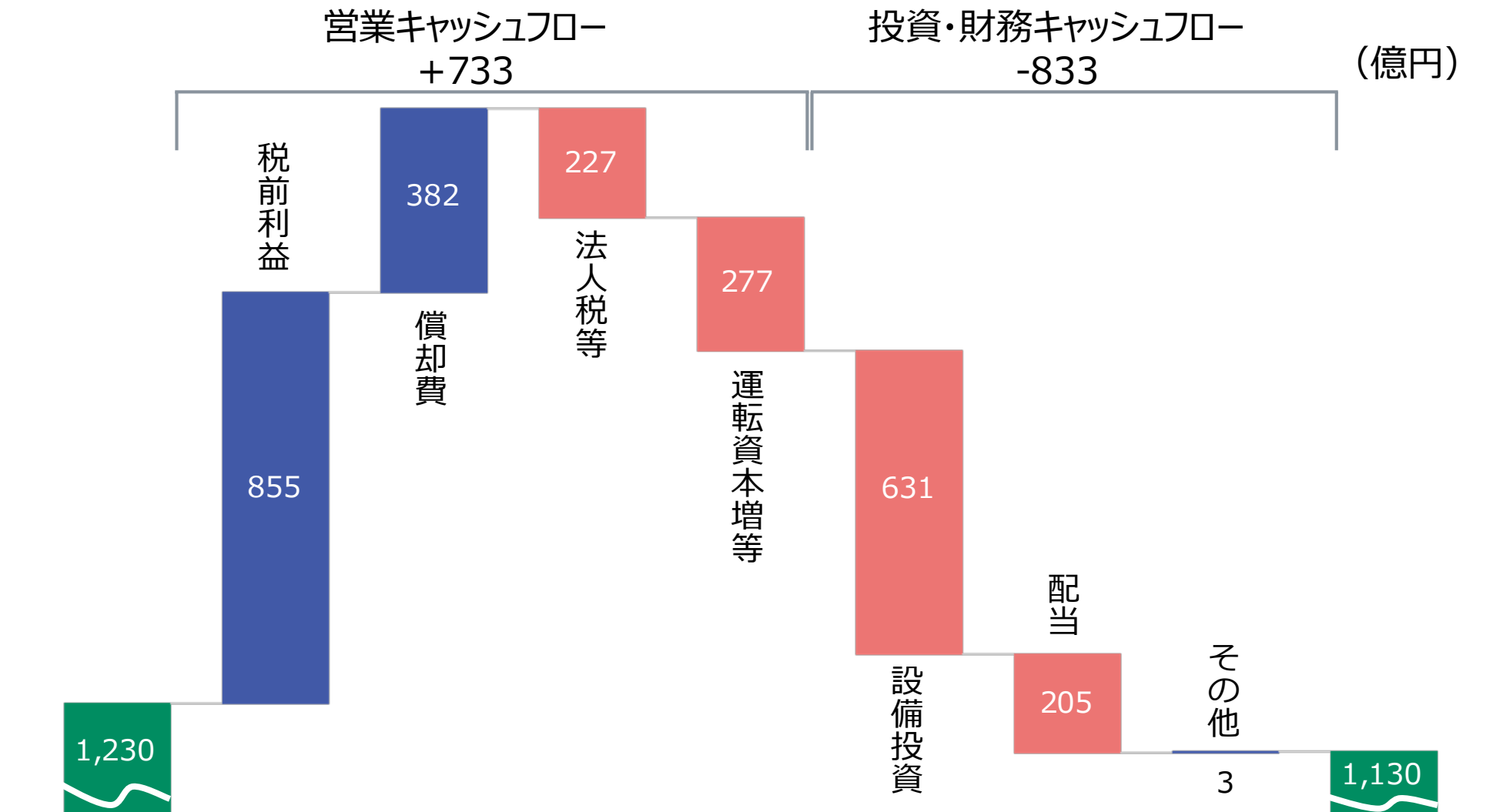
設備投資と研究開発費



(億円)

- 19年度は、増産設備、生産スペース、IT投資を拡大
 - 17年度以降はIFRSベース
 - 買収以外の無形固定資産取得、開発費の資産化含む
 - 19年度実績・予想にはリース償却 (IFRS16)含まず
 - 主にカテーテル・ニューロ・血液の開発活動を促進
 - 開発費の資産化は設備投資に含む
- 18年度 : 24億円
 19年度Q3累計 : 34億円
 19年度予想 : 45億円

キャッシュフロー



18年度末
現預金残高

設備投資は建仮計上ベース

期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

19年度Q3末
現預金残高

為替感応度

1円の円安に対する年間影響額 (億円)

	USD	EUR	人民元
売上収益	17	8	24
調整後営業利益	0	5	13

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	20	36

転換社債の状況

■ 社債明細 (2014年12月起債)

※2019年4月に実施した株式分割考慮

満期	発行額 (億円)	金利	転換価格 (円)	転換制限 価格 (円)	転換の場合 必要となる株数
2019年12月	500	0.0%	1,919	2,495	約26百万株
2021年12月	500	0.0%	1,919	2,495	約26百万株
計	1,000				約52百万株

■ 転換状況 (2020年1月31日時点)

対象社債	転換行使額 (対象社債総額比)	交付株数 (発行済株式総数比)
2019年12月満期	500億円 (100.0%)	26百万株 (3.4%)
2021年12月満期	425億円 (85.0%)	22百万株 (2.9%)
合計	925億円 (92.5%)	48百万株 (6.3%)

➤ 転換行使による株式交付は自己株式を充当

- 自己株式の状況： 7百万株(2020年1月末時点、取得単価1,949円、発行済総数比1.0%)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。